

## 福岡ダンスエクステンジ2024 ワークショップ



場所：福岡アジア美術館 7階カフェスペース

参加費：無料

対象：ダンサー、俳優、学生 ※ダンス未経験者でも参加可能。動きやすい服装でお越しください。お問い合わせ：[utmost.tokyo@gmail.com](mailto:utmost.tokyo@gmail.com)

W.S ① 5月17日（金） 17:30~

インドネシア伝統舞踊 講師：Rianto, Miray Kawashima

古典的なジャワ舞踊、特にレンゲランアンラン・バニユマスの異性装形式に特化したダンスのマスター。2004年インドネシア芸術研究所を卒業後、東京にてデワンダル・ダンス・カンパニーとインドネシアにてリアント・ダンス・スタジオを設立。さまざまな国際的な振付家やカンパニーとの共同創作やコラボレーションを通して、「現代のジャワ舞踊」の確立に注力している。世界各地のレジデンスに参加し、ガリン・ヌグロホによる映画『わが身の記憶』のインスピレーションとなった。



W.S ② 5月19日（日） 13:00~ 「ダンスと時間」

講師：ゲイシャ・フォンテーヌ

踊りと時間？ 作品の構成の仕方とは？ パフォーマンスの長さはどのように決めればいいのか？ 即興の技術をどう向上させられる？

このワークショップでは、振付における時間の異なるレイヤーに焦点を当てます！「時間」の概念はダンスをはじめとする舞台芸術においてとても重要な要素です。「時間」そのものが細かい動きや振り付けに対して影響を与えるアーティストでもあります。踊りの中の「時間」に集中してみると新しい発見があります。「時間」は周期的で、線形で、ジグザグで・・・「時間」とはまさに芸術家なのです！このワークショップを通してダンスに

おける時間との関係性を一緒に考えてみるのはいかがでしょうか？！

ゲイシャ・フォンテーヌ

フランス、パリを拠点に活動するダンスカンパニー「ミル・プラトーアソシエ」の芸術監督。フランス国内外で多くの振り付け、公演活動を行う。振付家、パフォーマー、ダンス研究者としての活動だけでなく、ダンス芸術哲学の博士号取得の経験を活かし、複数の書籍の著者として大学や芸術センターでも活動中。主な著書に本ワークショップのテーマでもある時間とダンスの関係性を記した“Les danses du temps”（「時間のダンス」）がある。

